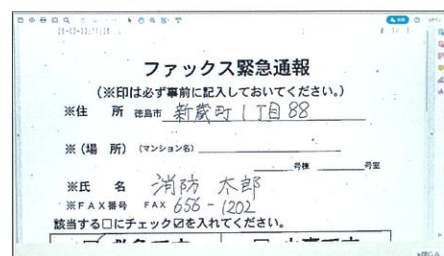


さまざまな通報手段への対応

NET119、FAX119

聴覚または音声・言語機能等に障がいがあり、音声による119番通報が困難な方がお持ちのスマートフォン等やFAXを活用して緊急通報を行えるシステムです。

NET119の場合、事前登録した情報やGPSから取得した位置情報により、通報場所を素早く特定し、チャットによる文字でのやりとりを活用することにより、音声によらず通報内容を聴取することができます。



Live119【映像通報システム】

119番通報者が撮影した映像を消防指令センターで受信し、言葉では把握しにくい災害発生場所の早期特定、火災や交通事故などの災害状況の把握及び的確な応急手当や迅速な消防救助活動につなぐための装置です。



大規模災害に柔軟・確実に対応できる仕組み

指令台モード変更（大規模災害モード）

大規模災害時など通報が集中する状況下においては、モード切替により指令台を増強して対応ができます。的確かつ迅速に災害事案を処理できる受付体制を確立しています。



通常運用時

4画面（自動・地図・多目的・支援）のディスプレイを活用



大規模災害時

通報が輻輳した場合、指令台を切替えて運用（最大8席使用可能）

バックアップ機能の強化

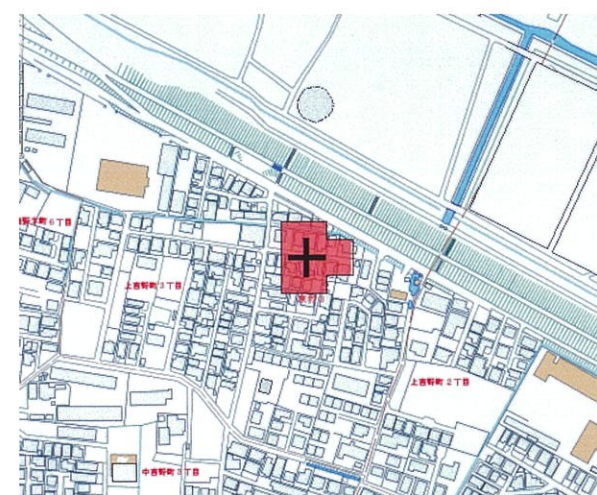
簡易基地局を2局増設したことにより、万が一メインの基地局が使えなくなった場合でも、簡易基地局がカバーします。これにより、災害時でも確実な情報伝達を可能にする冗長性を一層高めています。また携帯無線の出力が上がったことで活動範囲も広がりました。



迅速な情報共有・連携

出動車両運用管理装置

GPS（測位衛星）を活用して、リアルタイムに消防救急車両の位置、活動状況を常時把握。これにより、災害地点を特定すると同時に災害現場に最も近い位置の車両から選別して出動部隊を自動的に編成、最短時間による現場到着をサポートしています。



車両運用端末装置

現場隊員が必要とする指令情報や地図情報、現場までの最短ルート、傷病者情報といったさまざまな支援情報をリアルタイムに受信、表示することができます。現場活動に必要な情報を迅速に提供することで、効率的な現場活動をサポートします。



指揮支援タブレット

指揮隊に配備され、事案共有システムを用いることにより、消防指令センターと災害現場の間でリアルタイムで情報を共有できます。



査察タブレット

携帯電話網等を介して査察現場で査察情報を入力、結果通知書等もモバイルプリンタで印刷することにより、査察業務の効率化を図ります。

